

編集委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 24(2012)年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 蕨原伸一

委員 委員長◎	蕨原伸一◎、磯辺智範、遠藤暁、金沢光隆、 兼松伸幸、舘岡邦彦、長谷川智之、渡部浩司 榮武二(担当理事)
今年度課題	・投稿論文の減少に伴う「医学物理」誌の位置づけ、編集方針の見直し ・創刊号からの掲載論文の J-STAGE での公開
委員会開催 履歴	9月14日(つくば国際会議場)5名(委員4名、榮理事) 10月20日(フクラシア東京)12名(委員7名、遠藤会長、新保理事、榮理事、 編集事務局1名、学会事務局1名) 2月15日(国際文献社会議室)8名(委員4名、遠藤会長、榮理事、 編集事務局1名、学会事務局1名)
総括 不足の場合は別 紙付加可	<p>A) 5月に新しい編集委員が選出された。</p> <p>B) 昨年度からの継続作業で、科学技術振興機構(JST)の J-STAGE への掲載論文の登録作業が進み、WEB上での一般公開が9月にスタートした。これによって1981年の創刊号から2008年までの「医学物理」誌掲載の学術記事 PDF版を誰でも自由に閲覧/ダウンロードできるようになった。なお2009年以降の掲載論文については、2013年度のJST予算で実施することが確定しており、JST側の準備ができ次第、順次作業を進める。またその後は、「医学物理」誌への掲載時期から J-STAGE へのアップロードまで、6ヶ月程度の期間を置いて進めることが決まった。</p> <p>C) RPT 誌(英文誌)発行後、「医学物理」への投稿論文が減少している現状を踏まえ、「医学物理」誌を今後どのように位置づけていくかの議論を9月・10月の編集委員会でおこなった。遠藤会長らと交えた議論により、以下の方針で進めることとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解説/特集記事を中心とした学会誌へ移行する。これらは、医学物理学会からの依頼原稿として会員内外にお願いする。 ・投稿論文は和文での「原著論文」「技術報告」「資料」及び「総説」とする。 ・医学物理学会への英文での研究論文の投稿は、英文誌 RTP に集約する。 ・理事会など学会活動の状況について、これまで以上に情報を掲載していく。 <p>D) 現状約半年遅れている発行時期を2013年度末までに正常化する。</p> <p>E) 2月の委員会では、上記 C), D) に沿った運営が軌道に乗りつつあることを確認し、今後の解説/特集について検討を行った。</p>